

ヘルパンギーナについて



☆ヘルパンギーナとは？

エンテロウイルスの一種が原因となっておこる急性のウイルス感染症です。



発熱と、のどに小さな水疱ができるのが特徴です。夏かぜの代表的な疾患ですが、最近では夏以外の季節でも発生することがあります。

☆どうやって感染するの？

感染した人の鼻汁、咳やくしゃみ、便などにより経口・飛沫・接触などの経路で人から人に感染します。感染してから症状が出るまでには一般的に、2～4日と報告されています。



☆症状は？

- ・発熱します。(2～4日間程度続きます。)
 - *発熱に伴って熱性けいれんを起こすこともあります。
- ・発熱に続いて、のどに小さな水疱ができます。水疱はやがて破れて潰瘍ができ、痛みを伴います。のどの痛みや頭痛、嘔吐をおこすこともあります。

★発熱やのどの痛みによって十分な食事が取れなくなり、それによって脱水症を起こすことがあるので注意が必要です。

★まれに髄膜炎を起こすことがあります。

元気がない、頭痛、高熱が続く、嘔吐を繰り返す、意識状態に変化が見られるなどの場合は、できるだけ早くかかりつけの医師に相談してください。

☆登園・登校は？

回復状態によっては、登園・登校に支障がない場合もあります。主治医に相談して下さい。

☆治療方法は？

発熱やのどの痛みなど、それぞれの症状に対する対症療法が中心です。
脱水症にならないように、水分や栄養の補給に十分注意します。

☆予防方法は？

- ・ヘルパンギーナのウイルスに有効なワクチンはありません。
- ・こまめに手洗い、うがい、洗濯をしましょう。
(感染した子のおむつを交換した時など、気をつけて下さい。)

